

ご意見いただきたい内容:効果的な普及啓発方法について

1. 普及啓発イベント

- ・府民を対象とし、集客施設においてイベントを実施。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施)
- ・イオン株式会社との包括連携協定に基づく公民連携の取組みとして、イオンモールにて実施。

時期	会場	内容
令和2年2月9日(日) 午前10時から午後4時まで	イオンモール大日(守口市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベル演奏会 ・もずやんととの撮影会 ・相談ブース ・工作コーナー ・ミニクイズ ・リーフレット配布
令和3年7月10日(土) 午後1時から午後4時まで	イオンモール北花田(堺市)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示 ・事業所の作品展示 ・相談ブース ・ミニクイズ ・啓発グッズ(クリアファイル)・リーフレット配布
令和4年6月4日(土) 午前10時から午後4時まで	イオンモール日根野(泉佐野市)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやんととの撮影会 ・相談ブース ・ミニ講義・脳トレ体験 ・啓発グッズ(うちわ)配布
令和5年6月25日(日)予定 午前10時から午後4時まで	イオンモール茨木(茨木市)予定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやんととの撮影会 ・相談ブース ・講演会・脳トレ等体験 ・啓発グッズ(うちわ)配布



2. 普及啓発用ツール

- ・普及啓発を行うため、府民や支援者等が、いつでも気軽に知識を習得することができるような普及啓発用ツールの作成・公開に向け、令和4年11月、令和5年1月の2回検討会を開催。
- ・構成員の意見を踏まえつつ、令和5年～数年掛けて作成・公開予定。(構成員:医師、セラピスト、支援者、当事者・家族)
- ・検討会では、構成員から「1本辺りの時間は短めの方が見やすい」「事例ごとに作成するとわかりやすい」「発達障がいや認知症との違いを切り口にする」と、高次脳機能障がい以外の方が見る機会も増える」といった様々な意見。
- ・作成する動画のテーマ(案)は下記のとおり。

作成予定年度	タイトル	内容
令和5年度	①事故や脳の病気のアトモシカすると…	症状、高次脳機能障がいの説明、相談窓口の紹介
令和5年度	②診断してもらうには ～発達障がい・認知症との違い～	診断基準や流れ、他障がいとの共通点や違い
令和6年度	③家庭内でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法、当事者・家族の会紹介
令和6年度	④買い物・銀行でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法、福祉サービス紹介
令和7年度	⑤職場でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法、就労支援
令和7年度	⑥学校でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法
令和8年度	⑦当事者・家族からのメッセージ	今後検討

3. 大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会

- ・令和4年度実施の講習会については下記のとおり。
タイトル:第3回大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会
開催方法:Web開催(YouTubeにて公開)
内容 : 本編 (1)高次脳機能障がいとは (2)当事者・家族・支援者の体験談
(3)当事者・家族会の活動紹介 (4)第2回の受講者アンケートの質問に答えるコーナー
特別編 リハビリや訓練について
事前申込者:合計430名
- ・令和3、4年度実施の講習会では、参加者へプレゼントするグッズや、チラシ・ポスターのデザインについて、大阪府立工芸高等学校の生徒さんが協力。

4. 普及啓発用ポスター・グッズ等

- ・令和2年度:クリアファイル 令和3年度:うちわ
- ・今年度は、高次脳機能障がいの症状や相談窓口を周知する啓発用ポスターを作製。
府内の医療機関285箇所(議題2の医療機関一覧に掲載の機関も含め)へ配布。イメージは参考資料7のとおり。
- ・上記ポスターについて、今後市町村、基幹相談支援センター等関係機関に配布予定。
- ・来年度作成の普及啓発グッズについて、大学の学生等と共同で作成する方向で調整中。

5. 人材養成

- ・令和4年度～対象者別に研修会を開催し、それぞれに必要な内容を実施。
対象者が明確になったことで参加しやすくなり、内容も充実。
- ・多職種連携について学べる機会として、令和5年度～地域支援のネットワーク再構築のための研修を実施予定。
- ・希望する開催方法について、受講後アンケートにて聴取。
令和5年度は、より受講しやすいよう会場とWebを選択できるようにする予定。

		研修名	内容	日時・方法	参加者数		(参考)R3
研修	対象者別	市町村担当職員研修	障がい特性を踏まえ、個別性の高いケースに応じて、どのような福祉サービスで地域生活を支えるかや市町村内での他部署との連携の必要性等についての理解	令和4年7月12日(火)13:30～16:45 Zoom及び会場での視聴	31名	計150名	84名 (内、市町村担当職員16名)
		地域支援者養成研修	地域の事業所で直接支援をしている支援者が、他の事業所における支援方法の好事例や試行錯誤の事例(失敗事例を含む)を学び、個々の状態像を適切にアセスメントし、個別性に応じた支援の組立ができるよう演習等を通じたスキルの獲得	講義:令和4年9月1日～14日オンデマンド配信 演習:令和4年9月14日(水)/20日(火)のいずれか 13:30～16:30 Zoom	67名		
		相談支援従事者研修	高次脳機能障がいの特性をふまえた支援会議等の実施、地域資源の改善・開発の取り組み、多職種連携の取り組み等、好事例を学ぶとともに、地域で支援の組み立てができるよう事例演習等を通じたスキルの獲得	講義:令和4年9月1日～14日オンデマンド配信 演習:令和4年9月21日(水)/28日(水)のいずれか 13:30～16:30 Zoom	52名		
		医療機関等職員研修	医療職に対し、高次脳機能障がいの支援に必要な受傷時の画像や経過などの様々な情報の提供に関する重要性や、医療と福祉機関でのリハビリテーションの違いや連携についての知識を習得	令和5年2月5日(日)10時～12時15分 Zoom	59名	82名	

市町村職員研修の講義内容

講義①「よくわかる高次脳機能障がい～原因から考える対策～」

京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科言語聴覚専攻 教授(精神科医)上田敬太氏

講義②「失語症者への支援について」

一般社団法人大阪府言語聴覚士会 失語症意思疎通支援実行委員会

講義③「大阪府における高次脳機能障がいのある方への支援～市町村及び基幹医療支援センター調査結果等から見えること～」

大阪府福祉部障がい福祉室 地域生活支援課職員

講義④「大阪府高次脳機能障がい支援拠点の取り組み」

大阪府高次脳機能障がい相談支援センター職員

講義⑤「高次脳機能障がい者等の支援における連携例報告」

一般社団法人迅 特定相談支援事業者 相談支援センター迅 代表理事兼管理者 吉村栄夫氏

地域支援者養成研修・相談支援従事者研修の講義内容＊講義は共通

講義①「高次脳機能障がいの診断と評価」

大阪急性期・総合医療センター リハビリテーション科 公認心理師 岡部 伸太郎氏

講義②「退院支援の実際と制度の活用について」

医療法人春秋会 城山病院 クオリティーマネジメントセンター 主任 鬼追 靖子氏

講義③「高次脳機能障がいのある方を支援する事業所の実践報告と当事者の体験談」

いきがいワーク メンバー 池田 かおり氏・いきがいワーク 管理者 村上 和子氏

講義④「コミュニケーション障がいがある人への支援 - 失語症を中心として -」

地域活動支援センターすももクラブ 管理者 ST 大槻 美保氏

講義⑤「高次脳機能障がい者等の支援における連携例報告」

一般社団法人迅 特定相談支援事業者 相談支援センター迅 代表理事兼管理者 吉村 栄夫氏

講義⑥「高次脳機能障がいの相談支援で大切にしていること」

大阪府障がい者自立相談支援センター身体障がい者支援課職員

講義⑦「高次脳機能障がい者支援における(自立支援)協議会の活用」

摂津市障害者総合支援センター施設長主任相談支援専門員(大阪府障がい者相談支援アドバイザー) 石井 寛人氏

地域支援者養成研修の演習内容

講義・演習①「高次脳機能障がいのある方の支援の組み立て」

大阪府立障がい者自立センター 自立支援課職員

アドバイザー・ファシリテーター：高次脳機能障がいのある方の支援経験が豊富な障がい者支援事業所職員数名

演習②「研修参加者のネットワーク作り」

大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課職員

相談支援従事者研修の演習内容

講義・演習①「高次脳機能障がいのある方の支援の組み立てと連携」

医療法人清風会 菜の花障害者相談支援センター係長(相談支援専門員)舟木 奈緒美氏

演習②「研修参加者のネットワーク作り」

大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課職員

医療機関等職員研修の講義内容

講義①「高次脳機能障がいについて」

大阪府障がい者自立相談支援センター 所長 正岡 悟

講義②「高次脳機能障害を有する方のネットワーク支援」

医療法人大植会葛城病院副院長(リハビリテーション科医)橋本 務氏

講義③「精神科からみた社会的行動障害とそれへの対応」

医療法人爽神堂 七山病院 (精神科医)本多 秀治氏

講義④「関わりが困難な方への入院中・退院後の支援」

医療法人大植会葛城病院リハビリテーション部 作業療法課長(作業療法士)永田 作馬氏